

令和6年度第1回学校運営協議会兼魅力化コンソーシアム役員会 議事録

1. 期 日：令和6年7月2日（火）
2. 時 間：15：30～17：00
3. 場 所：松江農林高校会議室
4. 出席者：

氏 名	所 属	
能海 広明	松農会 会長	
上野 誠	島根大学生物資源科学部 学部長	
岩田 英作	島根県立大学松江キャンパス 副学長	
角森 章子	島根県立農林大学校 校長	
桑垣 宏二	松江市産業経済部 部長	
曳野 貴志	松江農林高校 PTA 会長	
大岩 睦子	地域代表	
矢野 俊人	松江農林高校魅力化コンソーシアムマネージャー	
原 隆志	松江農林高校 校長	
大庭 荘平	松江農林高校 教頭	
石倉 裕子	松江農林高校 事務長	
中村 丈志	松江農林高校 総務主任	
藤原 智子	松江農林高校 教務主任	
奈良井瑞恵	松江農林高校 生徒指導主事	
齋藤 寿和	松江農林高校 魅力化推進室長	
立石 篤	松江農林高校 農場長	

5. 協議題

- (1)会長・副会長の選出について
会長：能海広明様、副会長：梶谷朱美様で承認。
- (2)学校経営方針及び魅力化の方針について
承認。
- (3)松江農林高校の学科等今後の方向性について
グループに分かれてフリートークをして意見交換。
- (4)ご縁コンソーシアム令和6年度事業計画案
承認。
- (5)ご縁コンソーシアム令和6年度予算案
承認。
- (6)クラウドファンディングの実施について

承認。

(主な意見)

○松江農林高校の学科等今後の方向性について

- ・今の小中学生が何を考えているかをつかむ必要がある。
- ・起業家精神等社会に出ていく力を高校生のうちからつけさせたい。
- ・技術を身につけた即戦力の人材育成を。
- ・地元の活力は農林高校の卒業生にある。
- ・災害が多発する時代には災害復旧での地域貢献という側面もある。
- ・AI活用を農業に活かすという視点。
- ・AIではできない、農林高校でしか学べない魅力がある。
- ・仕事を辞めてもやっていけるパワーがあるとよい。自己肯定感が高まる高校時代を送って欲しい。
- ・何かあるときには教員が連れて行くようだが高校生に対して甘いのではないか。
- ・高校生は世間の厳しさを知らない。親もすぐに容認する。
- ・学校が企業を知らない。企業も学校を知らない。
- ・学力の定義が変わってきている。
- ・魅力化の取組が功を奏している。

○クラウドファンディングについて

- ・有効な手段であり大学でもよく活用している。実施するタイミングが重要である。
- ・手数料がもったいない。
- ・今後コンソーシアム会計の監査が必要になる。規約の改正が必要。次回で提案する。